

## 議 事 要 旨

議 事 要 旨	
会 議 名	徳島県がん診療連携協議会
日 時	平成26年10月28日(火) 19:00～21:00
場 所	徳島大学病院大会議室 (中央診療棟5階)
出 席 者	福森会長、木村委員、八木委員、住友委員、坂東委員、林委員、喜多委員、藤原委員、本田委員、寺嶋委員、鎌村委員、有澤委員、高山委員、岡久委員、近藤委員、丹黒委員、勢井委員、秋田委員、木田委員、藤原氏(代理)、近藤氏(代理)、西村氏(代理)、居村氏(代理)、田村氏(代理)
欠 席 者	山崎委員、川島委員、香美委員、金山委員、田中委員、漆川委員、
陪 席	徳島大学病院医療支援課：安部専門職員、松村委員、宮越事務補佐員 徳島大学病院：三木外来化学療法室看護師長、 徳島県立中央病院：安田次長兼医事課長、住友医事企画課課長補佐 徳島赤十字病院：郷副病院長、松島医療社会事業課長、太田主事、島村社会福祉士 徳島市民：高尾係長 県立三好病院：稲井主査兼係長 徳島県立海部病院：井内診療情報管理士 阿南共栄病院：吉川事務員、平田看護師 健康増進課：柴原課長補佐、山田係長、仙波主事、 徳島県病院局：尾崎氏
<p>福森がん診療連携協議会会長(以下、福森会長という。)司会進行のもと、徳島県がん診療連携協議会が開催された。</p> <p><b>【議題1】</b> がん診療連携拠点病院の取組について</p> <p>① グループ指定について</p> <p>山田健康増進課係長から、別紙資料「徳島県立三好病院の地域がん診療病院に係るグループ指定について」に基づき説明があった。がん診療連携拠点病院等の整備について、従来のがん診療連携拠点病院に加えて地域がん診療病院が平成26年4月に新設された。これにより拠点病院とのグループ指定により高度がん診療へのアクセスを確保、空白医療圏の縮小の目標が設けられた。徳島県西部が拠点病院未設置の空白医療圏となっているため、徳島県立三好病院とがん診療拠点病院である徳島県立中央病院をグループ指定の組み合わせとして、徳島県立三好病院を地域がん診療病院に新規指定の申請を行いたい。地域がん診療病院の指定要件を満たすために徳島県立中央病院との連携により確保する。なお、都道府県がん診療連携協議会がグループ指定の組み合わせを決定するとされていることから、グループ指定について協議を行っていただきたいとの要望があった。また、今後のスケジュールとして平成27年3月末で現在の都道府県がん診療連携拠点病院となっている徳島大学病院、地域がん診療連携拠点病院となっている徳島県立中央病院・徳島市民病院・徳島赤十字病院の更新指定も終了するため再度申請を行うこととなる。平成27年2月頃に国における審査会、指定の可否決定、4月1日には指定開始となるとの報告があった。</p> <p>福森会長から、西部医療圏にはがん診療連携拠点病院がなく、過疎地にはがん医療の病院が出来ることは患者さんのためにもなるため、ぜひ徳島県立三好病院になっていただきたいとの意見があった。</p>	

住友委員から、指定要件を満たすために徳島県立中央病院から寺嶋委員に異動していただき他にも徳島大学病院から医師の派遣も行っていただいている。地域がん診療病院になれるよう頑張っていきたいとの意見があった。

福森会長から、グループ指定の組み合わせ並びに徳島県立三好病院の地域がん診療病院指定申請について行ってもよいかとの意見があった。

出席委員で検討の結果、了承された。

## ②PDCAサイクルについて

福森会長から、がん診療連携拠点病院等の整備に関する指針としてPDCAサイクルの確保を行うこととなっている。PDCAサイクルについてはコメディカルスタッフだけでなく、がん診療に携わる医師にも関わっていかなければいけないため、ご出席の先生方にも周知していただく目的ともなっているとの意見があった。

安部専門職員から、別紙資料に基づき説明があった。地域がん診療連携拠点病院の指定要件、都道府県がん診療連携拠点病院の指定要件としてPDCAサイクルの確保となっており、情報共有と相互評価を行うとともに地域に対してわかりやすく広報をすることとなっている。平成26年度はがん相談支援センターの設置について取り組み、各がん診療連携拠点病院で設置を行い、相互評価も行ったとの報告があった。平成27年度PDCAサイクル（案）として、がん相談支援センター認知度向上に向けて取り組む。実行は、県との協同による広報の実施。評価はアンケートの実施・状況の確認。改善はアンケートの実施状況により改善で行いたいとの提案があり、協議いただきたいとの要望があった。

勢井委員から、認知度向上・周知について取り組んでいただけると有り難いとの意見があった。がん相談支援センターを知っている方が少ない。AWAがん対策募金にも診療を受けた後に相談があり、がん診療連携拠点病院にはがん相談支援センターがあることを説明するとわかっていたが、知らない方が多い。がん相談支援センターの相談員の方が表に出て周知を行っていただきたい。また、国立がん研究センターでも、がん相談支援センターについての冊子を作成し年末までには各がん診療連携拠点病院に配布する予定であるとの情報がある。今後は、医師等と一緒に阿波踊りなどでも周知をお願いしたいとの要望があった。

丹黒委員から、よければ毎年行っているピンクリボン阿波踊りで周知を出来るなら参加頂きたい。また、全国的にも周知が進んでいないことから院内からでもがん患者さんに周知していきべきでないかとの意見があった。

木村委員から、パンフレットを作成して診療時にごがん患者さんが来られたときにがん相談支援センターの案内をしているがあまり利用されていないようである。がん相談支援センターについての内容の説明不足と相談室の内容が理解していただけていない。また、ショッピングセンターで周知するより、ターゲットを絞って周知してもよいのではないかとの意見があった。

勢井委員から、院内の周知も大切ではあるが、ショッピングセンターやコンビニでも案内を行っていただきたい。冊子等を置いているだけでがんになったときに必要としていただけるといいのではないかとの意見があった。

木村委員から、テレビコマーシャルを使用するのもよいのではないかとの意見があった。

福森会長から、各がん診療連携拠点病院は名称をがん相談支援センターとして設置して運用を行っている。まずは院内での周知や掲示をきちんと行っていただきたいとの依頼があった。

寺嶋委員から、詳細についてはがん相談支援・情報提供部会で検討してはどうかとの意見があった。

郷徳島赤十字副病院長から、PDCAサイクルについて内容が違うのではないかと。CHECKは認知度が向上したかどうか効果の測定をするものであり、ACTが出来ていなければ次の年のテーマにすればよいとのことで、テーマを毎年変える必要はないのではないかと意見があった。

福森センター長から、目標を達成できればテーマを変更して良いのかとの質問があった。

郷徳島赤十字副病院長から、患者さんへの周知を100%とすると今後ずっとサイクルを回していく必要がある。このテーマは自院だけで目標を設定すればいいのではないかと。各病院が独自で目標を決めて行ってもよいのではないかと。

福森会長から、独自で目標を決めてもよいが相互評価について、相互評価を行った同士の病院は目標等が取り組みがわかるが、すべてのがん診療連携拠点病院が内容を確認して把握する場が必要になってくるのではないかと質問があった。

郷徳島赤十字副病院長から、がん拠点病院が共通のテーマを設けるのか。各病院が独自に目標を決めて、がん診療拠点病院の相互評価については都道府県がん診療連携拠点病院の徳島大学病院がとりまとめて県民に広報を行うのかとの質問があった。

寺嶋委員から、徳島県として共通テーマで取り組むという提案でよいのではないかと意見があった。

安部専門職員から、各病院独自で定めてもよいが、今回の提案内容は徳島県としての共通テーマとしてはどうかと考えている。都道府県がん診療連携拠点病院がそれを広報することについてはどのようにするか検討いただきたいとの要望があった。

八木委員から、共通のテーマを設ける必要はないのではないかと。また、各病院のテーマで行い、それぞれの病院がお互いに相互評価を行い、徳島大学病院が取りまとめをして徳島がん対策センター等ホームページに掲載するのでよいのではないかと意見があった。

住友委員から、各病院の目標と県としての両方の目標があってもいいのではないかと。徳島県立三好病院もPDCAサイクルについて行っていきたいとの意見があった。

福森会長から、詳細についてはがん相談支援・情報提供部会で検討いただきたいとの要望があった。

### ③がん相談支援センターの相互評価について

福森会長から、議題③がん相談支援センターの相互評価については議題②の中で協議を行ったとの報告があった。

## 【議題2】その他

### ① 分科会の設置について

安部専門職員から、以前は徳島県がん診療連携協議会開催前に、がん診療連携拠点病院の委員の方に集まっていた分科会を開催していたが、ここ数年開催を行っていない。今後は各がん診療連携拠点病院と徳島県立三好病院で分科会を設置して開催を行いたいため、検討いただきたいとの要望があった。

福森会長から、本協議会にお忙しい中ご参加頂くのも恐縮なため、簡易な問題等は各がん診療連携拠点病院と徳島県立三好病院で集まっていた分科会を検討を行っていきけるよう分科会を設置するのでよいかと意見があり、出席委員で検討の結果、了承された。

### ②がん相談支援センター周知への取り組みについて

福森会長から、議題②の中でがん相談支援センター周知について検討されたため、その他意見はないかと質問があった。

勢井委員から、周知について進めて頂ければとくに問題はないとの回答があった。

山田健康増進課係長から、PDCAサイクルについても指定要件となっており、共通テーマとして行ってもよいのではないかとの意見があり、分科会でも県として協力を行っていききたいとの要望があった。

秋田委員から、医科歯科連携講習会が行われ、去年から今年にかけて歯科医師会会員490人のうち、約230名が講習を修了した。なお、術前患者への口腔ケアに200名、化学療法患者への口腔ケアに170名が協力できるとの名前を受け付けた。今後は徳島県鳴門病院でもとりかかっていたいく予定である。医科歯科連携等については、徳島県歯科医師会の連携室に相談頂きたいとの報告があった。

鎌村委員から、各がん診療連携拠点病院の指定更新、地域がん診療病院のグループ指定として来年度は連携が進んでいけるよう普及活動や広報に努めていきたい。また、前回の会議でも依頼を行った治療の記録ノートを活用を行っていただきたい。また、がんの検診受診率も上がっていない。保健所やAWAがん対策募金も小中学校をモデルとしてがんの検診受診の広報を行っているため、教育として協力を頂きたいとの要望があった。

福森会長から、閉会の言葉があり閉会となった。